

敗戦から高めた結束力

仲西男女同時V

県中学総体 第3日

第48回県中学校総合体育大会第3日は27日、県内各地で8競技が行われた。ハンドボール男子決勝は仲西が東風平に26対13で勝利し頂点に立った。女子決勝は仲西が神森に26対20で勝ち、同時優勝を果たした。バドミントンでは団体決勝リーグ戦があり、男子は彩橋、女子は沖縄東が制した。28日はサッカーの決勝などが行われる。(一部競技の記録は後日掲載)

ハイライト

悔しい敗戦から結束力を高めてきた男子仲西が念願の県内一の座をつかんだ。勝ち上がる中で何度も苦しい場面があったが、チームワークで乗り切った選手たちの頑張り、渡利将平監督は「強いチームがそろって粘り強くやってくれたことを褒めた。3月の九州中学生選抜で優勝を成し遂げた。しかしここからチームの雰囲気が変わる。下地叶也主将は「浮かれみないな、気の緩みが出てきた」と振り返る。結果、中学総体の地区予選で神森に2回戦負け。そこでチームにならなくていいなと気持ちを切り直した。

ミーティングなど一緒に話す時間を増やし、競技に懸ける思いを共有してきた。そして迎えた県総体。準々決勝では再び神森と対戦した。柱である下地主将が途中退場になる窮地にも、よりチームが一つになり乗り切った。準決勝の宮里戦は逆転勝ちし、決勝は攻守がかみ合い圧迫した。184秒の下地主将を中心に高きがあり、比嘉駿と速さが武器の選手もそろそろ。GKの喜名志成のセーブ率の高さも持ち味だ。下地主将は「一戦一戦しっかり目の前の相手に集中して絶対に全国に進みたい」と九州制覇を掲げた。(謝花史哲)

男子 苦境乗り切り 念願頂点



東風平ー仲西 前半、ディフェンスを突破しシュートを決める仲西の比嘉駿(27日)、ANA AERINA 浦添(喜瀬守昭撮影)

ハンドボール

が東風平に26対13で勝利し頂点に立った。女子決勝は仲西が神森に26対20で勝ち、同時優勝を果たした。バドミントンでは団体決勝リーグ戦があり、男子は彩橋、女子は沖縄東が制した。28日はサッカーの決勝などが行われる。(一部競技の記録は後日掲載)

仲西	26	15	11	9	11	20	神森
仲西	26	11	15	9	11	20	神森



東風平ー仲西 前半、シュートを放つ東風平の垣花美太郎(8)

島尻勢30年ぶりの快挙

○県中学総体のハンドボール男子で東風平が島尻勢で30年ぶり2度目となる決勝進出を果たした。

東風平決勝進出、九州へ

○県中学総体のハンドボール男子で東風平が島尻勢で30年ぶり2度目となる決勝進出を果たした。決勝は仲西に敗れたものの、準優勝の快挙。上位2チームに与えられる九州大会の出場権を手にした。ほとんどが小学校からのメンバー。その時から浦添勢が壁となり悔しい思いをし続けた。「中学最後には九州へ行くこと」と決意し臨み、準決勝で第1シードの浦添を破っての勝ち上がりだった。浦添は34対32で点の取り合いだった。死闘を尽くした手に決勝を戦う体力は残っていないという。仲西には完敗したが、九州派遣への目標を成し遂げた垣花美太郎主将は「今度は最後まで戦えるよう練習して、九州を突破して全国出場を果たしたい」と気持ちを切り替えた。

輝き放ったエース野底

女子 11得点、4年ぶり頂点導く

○後半残り10分、女子の仲西の仲西が放った。シュート13本を放ち、11本を決める決定率の高さを誇るエース野底が輝き放った。4年ぶりの栄冠をつかんだ。先んじられた前半は終了間際にサイドから仕掛けてカットインで得点。直後の守りでターンオーバー。



仲西ー神森 前半、フリーでパスを受け、シュートを決める仲西の野底桃伽



男女同時優勝した仲西